

研究プロジェクトメンバー

| | | |
|----|----|-------------------|
| 中谷 | 幸俊 | 日本アイ・ビー・エム株式会社 |
| 大浦 | 秀夫 | 富士通株式会社 |
| 木場 | 俊明 | 東京障害者職業能力開発校 |
| 高橋 | 公一 | 八幡職業能力開発促進センター |
| 関口 | 行雄 | 職業能力開発大学校 |
| 垣本 | 映 | 〃 |
| 船場 | 専 | 職業能力開発大学校研修研究センター |
| 浅井 | 清美 | 〃 |

序 文

今日の日本において、情報処理技術を中心とした技術革新は産業のあらゆる分野に及んでおり、生産現場のみならず事務、販売、管理等の職場も、コンピュータやコンピュータを応用した機器の導入等によるOA化が進んでいる。

今後、いわゆるホワイトカラー労働者も、コンピュータに関する基礎的な知識及び利用技能なしには、その職業能力や職業経験を十分に発揮することが困難な時代になりつつある。労働力不足基調時代の到来を前に、貴重な経験技能を持つ高年齢労働者を引き続き雇用し、その豊富な知識とノウハウを活用していくことは国及び企業にとって重要な課題である。

しかし、高年齢者の場合、一般的に新しい技術への適応力が弱く、とりわけコンピュータ関連の知識・技能の習得は容易でないことが多いので、近年の職務変化にどうしても取り残されがちである。ホワイトカラー労働者の場合もその例外でなく、高年齢化に伴って就業可能な職域が次第に狭められる傾向が強まっている。

このような社会環境の中で、高年齢ホワイトカラー労働者の職務適応及び職域拡大を図る対策の1つとして、コンピュータ・アレルギー等、高年齢者に特有な訓練特性に配慮した、コンピュータ利用技能の付与の為に効果的な訓練システムを平成5年度から5年計画により開発研究を行うこととした。平成5年度においては、高年齢ホワイトカラーの特性を把握し、その特性をもとに高年齢者のコンピュータ訓練にふさわしい入力装置、表示装置、訓練支援ソフト及びCAIを開発することを目的として、①調査部会 ②入力・表示装置開発部会 ③訓練支援ソフト開発部会 ④CAI開発部会の4作業部会を設置して、それぞれの分担のもとに訓練システムの開発をすすめてきた。本報告はそのうちの入力・表示装置に関する部会での検討経過及びその成果物を紹介するものである。

この訓練システムの総合的な報告はプロジェクトの最終年度である平成9年度にとりまとめ報告する予定である。

本報告にあたり、試行に御協力いただいた都立大塚高年齢者高等職業技術専門校及び八幡職業能力開発促進センターの関係各位に深く感謝する次第である。

1994年3月

職業能力開発大学校
研修研究センター
所長 城 哲也

調査研究報告書 No.69

高年齢ホワイトカラーの職域拡大のための
コンピュータ訓練システムの開発
～入力・表示装置部会報告～

| | |
|--------|--|
| 発行 | 1994年3月 |
| 編集・発行人 | 職業能力開発大学校研修研究センター 所長 城 哲也 〒229 相模原市橋本台4-1-1 Tel0427-63-9047 (広報普及室) |
| 印刷 | 電算印刷株式会社 〒390 長野県松本市筑摩1-11-30 Tel0236-25-4329 |
